



2つのS

伊丹市立総合教育センター
所 長 木 下 誠

教育は、子どもや保護者、地域住民の方々等との「信頼関係」の上に成り立っていると言っても過言ではありません。私は「信頼関係」を築くために心がけてきたことに『2つのS』があります。

『2つのS』とは、「誠実」と「スピード」のことです。「誠実」とは、まごころを込め“こだわり”を持って仕事をする、相手の思いや願いに心をめぐらせ、満足してもらえ仕事をすることです。森信三氏は、「修身教授録」の中で「誠実とは、『己を尽くす』という一事に極まる」と述べておられますが、「誠実な姿勢」は、その人の人間性そのものを象徴するものとなると思います。

以前、中学校に勤務していた時のことですが、ある教員の授業への「誠実な姿勢」に大きな信頼を覚えたことがありました。その理科の教員は、子どもたちに「理科のおもしろさを伝えたい。驚きや感動を与えたい」という思いから、よく手作りの教材を作ったり、電子黒板を活用したりするなど、一時間一時間の授業に“こだわり”を持っていました。何年か経って、その教員の結婚式に出席したのですが、教え子たちからビデオレターが届いていました。教え子たちは、「理科の授業が楽しみでした。先生のお陰で理科が好きになりました」とお祝いの言葉に添え感謝の気持ちを述べていました。このように「誠実な姿勢」というのは、何年経っても、子どもの心に深く刻まれ、「信頼」という大きな財産を築いているのです。

また、ある若い教員の「スピーディーな仕事」に感激したことがありました。その英語教員は、やらなければならない仕事を山ほど抱えていながら、私が頼んだ仕事を優先してやってきたのです。企業では、ユーザーの信頼を得、大競争時代を生き残っていくために「クイックレスポンス」という姿勢をととても大切にしています。また、東日本大震災後、何度となく「スピーディーな対応の大事さ」を痛感させられる場面に出くわしました。震災直後、水・食べ物や毛布等がなく、どうして飢えと寒さを凌ごうと途方に暮れている被災者にすぐに対応するのと時間が経ってからの対応では、ありがたさが全然違ってきます。

同じことが教育の世界においても言えると思います。自分のことは後回しにしてでも、相手の思いに心を馳せた時機を得たスピーディーな対応は、きっと相手の心をつかみ『信頼関係』を大きく築くことになると思います。



平成24年第4回伊丹市議会における一般質問

6月8日から、平成24年第4回市議会が開催されました。今回は22人の議員が一般質問に立たれ、教育に関する質問内容は、「新図書館ことば蔵」、「中学校『なぎなた』授業の実施」、「土曜日授業の実施」、「中学校卒業生の進路状況」、「県全日制高校普通科の通学区域」、「放射線副読本の活用」、「(仮称)神津認定子ども園」、「特別支援教育にかかる介助員の配置」、「通学路の安全」等、多岐に及びました。

今回は、それらの質問の中から、下記の2点について、質問内容及び伊丹市や伊丹市教育委員会の考えを抜粋、要約して紹介します。

1. 新図書館「ことば蔵」について

【質問趣旨】

- ① 施設の整備状況
- ② 交流機能のコンセプト（概念）と充実策について

【答弁内容】

開館まで半月となった現在、図書の移設はほぼ終了し、配架している蔵書の点検、書架の見出しの作成、表紙を見せる棚の設置などの作業を行っており、今月中旬からは、IC関連機器の運用シミュレーションを行います。施設面のバリアフリーに関しては、開架書架の間隔を広くし、車椅子での閲覧を可能にしたり、施設内の段差解消や点字ブロック、多目的トイレを設置したりするなど誰もが使いやすい施設となっています。ソフト面においても、1階受付に人員を配置するなどホスピタリティをもって運営していきます。

ところで新図書館「ことば蔵」には、3つの基本機能があります。1つは、「今日的な図書館機能」、2つめが、「ふれあい、語り合い、学べる交流機能」、3つめが、「歴史・文化を発信・体感できる機能」です。

「交流機能」については、現在まで先進地の図書館に学ぶという視点から、長野県小布施町立図書館長の花井氏による「まちの人と作る図書館」というテーマに基づく講演会、奈良県立図書情報館の乾氏による「図書館でここまでできる」という講演等のイベントを実施してきました。また、並行して「ことば蔵パークスペース運営会議」を月2回のペースで開催しています。この会議では、学生などさまざまな世代の参加がある中、自由闊達な意見交換がなされ、例えば、大学生が中学生を、高校生が小学生の勉強をサポートするといった企画や、スポーツ団体が会社員等を対象に卒業後ストレッチ教室を行う等の企画が提案されています。

「歴史・文化を発信・体感できる機能」については、開館オープニングイベントの1つとして、1階ギャラリーにおいて、宮ノ前をはじめ郷町地区の歴史が感じられる「伊丹郷町物語挿絵展」を開催します。それ以降も、博物館や文化財ボランティア、酒造組合などの団体と連携しながら伊丹郷町の歴史・文化に関する展示や講演会などを実施していきます。



【質問趣旨】

- ① 土曜日の授業実施
- ② 本年度の中学校の授業実施
- ③ 武道・ダンスの必修について

2. 新学習指導要領全面実施について

【答弁内容】

土曜日授業については、福岡県、横浜市、京都府、さいたま市などの自治体において、それぞれのスタイル（月2回とか月1～2回等）で実施しております。それは、小学校第1・2学年において週当たり2コマ（年間70時間）、3～6学年において週当たり1コマ（年間35時間）、中学校（全学年）において週当たり1コマ（年間35時間）授業時数が増えることによる平日における子どもの学習負担を考慮したものと考えられます。

文部科学省は、これらの自治体に対して、あくまで地域住民や保護者との交流による「開かれた学校づくり」の一環という位置づけでの実施を容認しています。文部科学省の調査によりますと、平成23年度に土曜日を活用して、代休日を設けずに教育課程内の教育活動を行った学校の割合は、小学校は6%未満、中学校は7%未満だということです。

本市では、学校管理規則で学校長からの届出または申請により、土曜日や休業日を授業公開日等として授業を実施できるとしています。教育委員会としましては、まず、基本となる通常の授業日における教育活動の充実に努めることを第一義と考えておりますが、各学校の実態に応じて、土曜日などの休業日に授業、学習会を実施するなど、地域に開かれた特色ある教育活動を行って参りたいと考えています。



【なぎなた授業風景】

次に、中学校における授業時数確保のための具体的な取組みとしては、全

中学校において、2学期の始業式を8月29日に行います。その他、6校時終了後の10分間を使って全学年その日の振り返り学習を行ったり、7校時を設定し15～25分間、5教科授業を実施したり、学校行事を精選したりするなどし、授業時数の確保に努めています。

中学校では、平成24年度から新学習指導要領が全面実施となり、保健体育科において、第1・2学年で「武道とダンス」が必修となりました。伊丹市では、「武道」は、これまで領域選択として履修してきた柔道・剣道に加え、全中学校において伊丹市の特色を生かした「なぎなた」を実施します。8中学校の状況は、①4校において1・2年生男子が柔道、女子がなぎなた、②3校において1年生男女共習でなぎなた、2年生男子が柔道、女子がなぎなた、③1校において1・2年生男女共習でなぎなたとなっています。「ダンス」は、伊丹市では必修化される前から1・2年生とも年間10時間程度男女共習で実施しており、毎年、体育大会や連合体育大会において、その成果を発表しています。今年度は、全中学校において、1年生は、男女共習でリズムダンスを、2年生は、男女共習で民謡や創作ダンスを行うことになっています。

平成24年度 夏季研修会

教員にとっては、『資質の向上と意識改革』は、最も大事な課題です。
総合教育センターでは、今どのような研修が必要かを考え、以下のような研修を企画しました。
比較的時間にゆとりのあるこの時期をうまく活用して、自分自身を磨いてください。

研修会名	日 時	講 師	内 容
管理職研修	① 7/27 (金) 14:00~16:00	株式会社大喜金属製作所 中辻 康 代表取締役	「グローバルな視野から捉えた『生きる力』とは」
	② 8/27 (月) 10:00~12:00	兵庫教育大学大学院 浅野 良一 教授	「学校評価を活かした学校運営」
幼児教育研修会	① 7/25 (水) 14:00~16:00	兵庫教育大学大学院 鈴木 正敏 准教授	「子どもたちの言葉の力を育てる」 ～伝え合い、学び合う実践を求めて～
	② 7/30 (月) 15:00~16:45	鳴門教育大学附属幼稚園 佐々木 晃 教頭	「豊かな心をはぐくむ幼児教育の実践」
理科実験講座	④ 7/30 (月) 14:00~16:00	(財)大阪科学技術センター 普及事業部 脇島 修 氏	「エネルギーの見方」分野の指導について
	⑤ 8/7 (火) 9:00~16:30	さくら精機(実験器具製作工場)見学、大阪科学技術館館内見学、簡易放射線測定器「はかるくん」を使った授業の提案	
教育課題講演会	① 8/2 (木) 10:00~11:45	大阪府立茨木特別支援学校 榎場 政晴 指導教諭	「ICT活用による学習支援の充実」 (情報教育)
	② 8/2 (木) 14:00~16:00	兵庫教育大学大学院 新井 肇 教授	「こどもの現状理解とこれからの生徒指導のすすめ方」 (生徒指導)
	③ 8/3 (金) 10:00~12:00	兵庫教育大学大学院 加藤 明 教授	「新教育課程と求められる教師の実践的能力 ～目標と指導と評価の一体化から～」
	④ 8/3 (金) 15:00~16:45	京都女子大学 井上 一郎 教授	「生きた言語能力を育む言語活動の充実」 (ことばの力)
	⑤ 8/20 (月) 14:00~16:00	日本道徳教育学会 横山 利弘 会長	「道徳の授業展開 ～苦手があたりまえ～」
特別支援教育研修会	③ 8/7 (火) 10:00~12:00	大阪青山大学 米田 薫 教授	「保護者の信頼が得られる接し方 ～カウンセリング心理学に学ぶ～」
	④ 8/22 (水) 14:00~16:00	NPO法人ラヴィータ研究所 米田 和子 所長	「みんながわかる授業 ～授業のユニバーサルデザイン化～」
授業力向上講座	③ 8/8 (水) 10:00~12:00	同志社女子大学 大黒 孝文 教授	「協同で行う課題解決学習：ジグソー学習を用いて ～台風の進路を考えよう～」
	④ 8/8 (水) 14:00~16:00	奈良女子大学附属小学校 梶田 萬理子 副校長	「読むこと・書くことを通じた 教育活動と子どもの育ち」
若手教員のためのスキルアップ講座	8/1 (水) 9:00~16:45	学校長、教頭、教育部教科等指導員、学校指導課指導員等	授業づくり、生徒指導、NIE、冒険教育等
学校掃除に関する研修会	7/27 (金) 10:00~16:30	(株)ダスキン 暮らしの快適化生活研究所職員	「子どもたちの力を伸ばす 学校掃除セミナー」
学級経営に関する研修会	8/6 (月) 10:00~12:00	兵庫教育大学大学院 吉川 芳則 教授	「授業づくりは学級づくり」
ピアサポート研修会	② 8/9 (木) 10:00~16:00	教育委員会事務局 指導主事等	「学級づくり、仲間づくりに役立てよう ～心をつなぐ冒険教育～」
教科等研修講座(小学校音楽)	② 8/10 (金) 10:00~16:30	大阪音楽大学 田村 義一 講師	「低学年から高学年にかけて 系統立てた器楽合奏の指導について」
ライフスキル教育研修会	8/16 (木) 9:00~17:00 17 (金)	特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム 講師	Lions Quest「思春期のライフスキル教育」プログラムによるワークショップ
ことば科講座	① 8/20 (月) 10:00~11:30	日本語検定委員会 山内 純子 審議委員長	「社会が求めることばの力とその育て方 ～企業のコミュニケーション力～」
保護者と教師のための講演会	8/21 (火) 14:00~15:30	前香川県綾川町立綾上中学校長 竹下 和男 氏	「『くらしの時間』が家族を育む」 (家庭は子どもの心を育てる基地)